

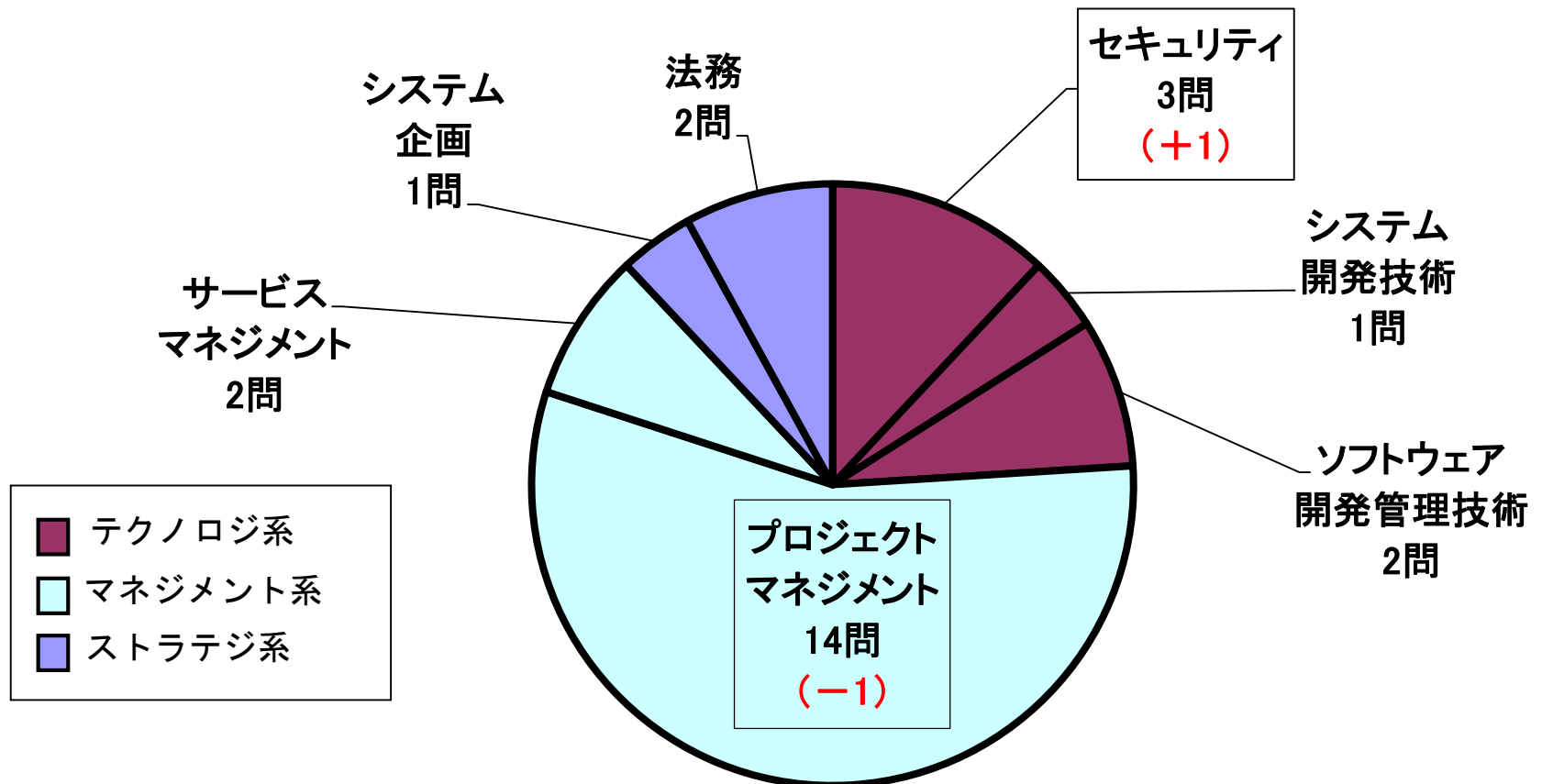
令和2年度 10月試験 プロジェクトマネージャ(PM) 出題傾向分析

TAC株式会社



PM 午前Ⅱ 分野別出題数

- 「セキュリティ」が重点分野になり, 出題比率に変化
- 「プロジェクトマネジメント」から14問(56%)



PM 午前Ⅱ 特徴と難易度

- ・ 「プロジェクトマネジメント」分野
 - － 新作問題は4問 プロセスや用語の知識確認
計算問題の1問は易しく、総じて難易度は**標準的**
 - － 過去問題の再出題の年度
これまでは5年以内から→今回は**10年前**のものも
- ・ 「プロジェクトマネジメント」以外の分野
 - － **新作問題が多い(テーマそのものが初めて)**
- ・ 計算問題はやや多かったが(4問),
読取りや計算に時間のかかるものは少ない

⇒ 午前Ⅱ全体としては**標準的**

PM 午前Ⅱ 主な新テーマ

・ 新規問題の目新しいテーマ

PMBOK6より 資源平準化の特徴, 好機への“強化”戦略
インセンティブフィーの計算, デザイン思考,
共通脆弱性評価システム(CVSS)

・ 他区分の過去問題からの目新しいテーマ

カークパトリックモデルによる教育効果の測定
空調計画における“伝熱負荷”の軽減策
シングルサインオンの実装方式



知らないと手も足も出ない問題も出るが, 焦りは禁物

- ・ 情報処理技術者試験には, ITに関わる技術者が今知っておくべき事柄を, 出題することで広く啓蒙する役割もある
- ・ 60点取れば合格。解ける問題を着実に得点していこう

PM 午後 I 特徴と難易度

- ・ 午後 I 全体
 - 3問とも時流に則した事例
 - ・ 問1 デジタルトランスフォーメーション推進プロジェクト, AIで生産プロセスを自動運転
 - ・ 問2 プロジェクトチームの開発(アジャイル開発)
 - ・ 問3 SaaSの利用
 - プロジェクト憲章作成前というこれまでにない上流工程
 - 問題文から解答可能な設問が多い
 - 問題文のボリュームには差がないが, 解答数は問2が多い
 - 問2は初めてのアジャイル開発事例
 - ⇒ 問2が難しく, 全体としてはやや難

PM 午後 I 各問題の特徴と難易度(1)

- ・ 問1 デジタルトランスフォーメーション(DX)推進におけるプロジェクトの立ち上げ
 - プロジェクト憲章の作成前の事例
 - 設問が全てPM予定者の提案に関するもの
 - ・ 7問中6問が「〇〇を提案した狙いは何か」
 - 問題文から解答を導けるものが多い ⇒標準的
- ・ 問2 システム開発プロジェクトにおけるプロジェクトチームの開発
 - アジャイル開発でサービスの機能追加・改善
 - 期間短縮・生産性向上のための取組み(ベロシティ)
 - ・ 生産性を上げるための確固たる理論がない
 - ・ 解答数も多い ⇒難

PM 午後 I 各問題の特徴と難易度(2)

- ・ 問3 SaaSを利用した人材管理システム導入プロジェクト
 - － SaaSの出題は2年前に一度 今回が2回目
 - ・ できるだけ標準機能を使って追加費用を抑える方針
 - － 設問で問われた内容
 - ・ 費用対効果以外に軽減できるリスク
 - ・ 利用部門の代表者が要件定義作業に参加する役割
 - ・ チャットツール機能で軽減できるリスク など
 - － 問題文から解答を導けるものが多い

⇒標準的

PM 午後Ⅱ 特徴と難易度

- ・ 問1と問2で難易度に差あり
 - － 問1は対象システムが絞られ，経験者が少ないテーマ
 - － 問2は対象が幅広く，誰でも経験している身近なテーマ
- ・ 2問とも[設問ア]の論点が多い
 - － 問1は3つ，問2は4つの論点
 - ・ 「プロジェクトの特徴」だけでなく，「目標」や「要求事項」も。
 - ・ 論点を漏らさず，800字に収まるよう，注意が必要

⇒ 全体としてはやや難

PM 午後Ⅱ 各問題の特徴と難易度

- 問1 未経験の技術やサービスを利用するシステム開発プロジェクトについて
⇒難
 - ・ PoC(新技術やサービスの概念実証)が主要テーマ
 - － PoCの経験がないと厳しい
 - ・ TAC模試でも出題！（新技術利用プロジェクト）
- 問2 システム開発プロジェクトにおけるリスクのマネジメントについて
 - ・ 外部のステークホルダに起因するリスク
 - ・ リスクマネジメントの基本的な流れに沿った論点
 - － リスクの評価, 対応策, 監視方法 など
 - ・ 誰もが経験しているテーマで, 論述しやすい
⇒標準的

AU午後Ⅰ
でも出題！

PM 今後の対策

・ 午前 II

- まずは重点分野「プロジェクトマネジメント」を確認
 - ・ 規格類(PMBOK 第6版, JIS Q 21500)は必ずチェック
- 過去問題演習で重要テーマや主要論点を把握
 - ・ 2回前を中心に6回くらい前まで(時間があればH21以降)
 - ・ 丸暗記ではなく要点の理解を
- 「セキュリティ」は重要分野だが**技術レベルは3**
 - ・ PMと応用情報(AP)の過去問題で学習を

・ 午後 I

- 主要テーマについて過去問題演習を繰り返し, 基本的な考えやノウハウを吸収:リスク, 品質, パッケージ導入, 契約
- 余裕があれば新技術についても確認
 - ・ アジャイル開発, IoT, ビッグデータ, AI など

PM 今後の対策

・ 午後Ⅱ

- プロジェクト事例を事前に用意する
 - ・ プロジェクトの特徴, 対象のマネジメントプロセスの概要, 発生した問題点, 改善策, 評価, 今後の改善点 など
 - ・ 想定されるマネジメント分野について, できるだけ多く
 - リスク, 品質, コスト, スケジュール, ステークホルダ, コミュニケーション, スコープ など
- 用意した事例を論点に応じてカスタマイズする練習を
 - ・ 上手にカスタマイズするためには,
 - それぞれのマネジメント分野の進め方を理解しておく
 - マネジメント分野ごとの手法やキーワードを整理しておく
 - ・ 設問要求に合った答えになっているかを必ずチェックする